

燃料サイクルにかかわる科学技術的諸問題

概要/目的:

本ウェビナーでは、オープン及びクローズドという2つの燃料サイクルにおける科学技術的問題について説明します。オープン燃料サイクルにおけるサーマルリアクターがもつ問題点及び、クローズド燃料サイクルにおける高速炉のメリットに焦点を当てつつ、混合UN燃料と使用済燃料処理の最新の技術開発についても紹介します。さらに"Proryv"プロジェクトで開発されている新しい技術プラットフォームついても紹介します。

講演者紹介:

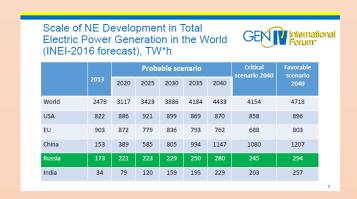
Alexander Orlov博士 は「Proryv」プロジェクトR&D科学部 長のアドバイザーである。2012年から鉛・ナトリウム冷却高速炉、新型炉(U-Pu・窒化混合燃料)、使用済燃料再処理技術開発メンバーであり、これら技術は総合して「Proryv」プロジェクトとして知られる。

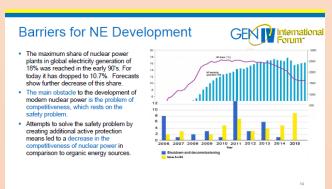




原子力導入の悲観的な予測とその障害:

世界の原子力発電導入シナリオ分析に依れば、全てのシナリオは中国 以外、原子力導入の悲観的な成長を示している。原子力導入の障害は 追加的な安全対策による競合性の欠落である。現在及び/又は古いオープン 核燃料サイクルは中期的な燃料供給には充分であるが、長期的な利用には、 ウランの低有効利用性、環境需要性の欠如、及び核不拡散リスクの面から限 界がある。

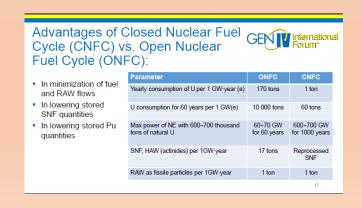


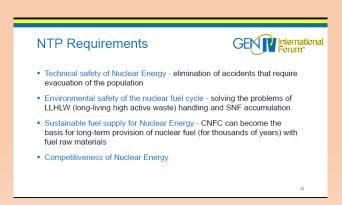


高速炉新技術プラットフォーム(New Technology Platform: NTP):

高速炉クローズド燃料サイクルは、放射性廃棄物の最小化、使用済燃料 (SNF) 及び貯蔵プルトニウム低減の面で利点がある。ロシア政府はNTPの開発 戦略(Stratefy-2000)を構築し、2020年までのマイルストーンに基づきこれを進めている。

NPTには、4つの主要課題、1)技術安全、2)環境安全、3)持続可能な燃料供給、及び4)競合性の解決が求められる。



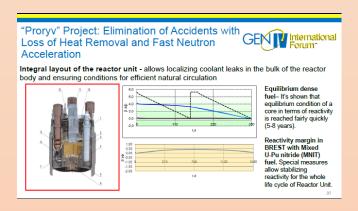


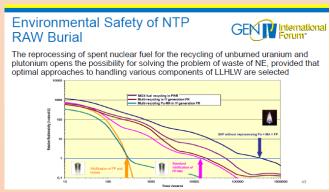


1) 技術安全及び 2)環境

技術安全を達成するため目標は、原子力発電所及び他の原子力施設における人々の避難が必要となる事故の排除である。ゼロ余剰反応度高濃度燃料炉心、鉛冷却剤、及び自然循環のための空冷熱交換器は反応度事故及び熱除去損失事故を排除するための方策となり得る。

環境安全のための目標は、長寿命高レベル放射性廃棄物の処理の社会受容、及びSNF累積の回避である。SNFの処理、マイナーアクチニド変換及び放射性廃棄物の処分は、環境に重大な量の放射性廃棄物の処分の禁止、SNF量の削減、及び放射性廃棄物の隔離のための方策と定義される。

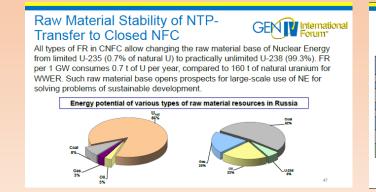


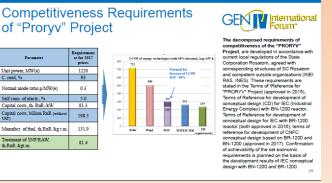


3)持続可能な燃料供給、及び 4) 競合性

原材料を伴う長期的な核燃料の供給は、持続可能な燃料供給の目標である。増殖費1以下の高速炉、SNF再処理及び再利用物質を用いた燃料加工を利用した、炉心の核分裂性核種の完全な再生産及びクローズド核燃料サイクルへの移行は、この目標を達成し得る手段である。

競合性は、原子力発電所のシステムの数及び炉の設計の簡素化、及び燃料構造材及びオンサイト燃料サイクルシステムによる輸送コストの低減によっ実現可能である。



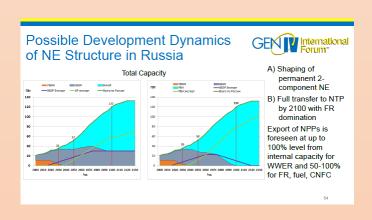


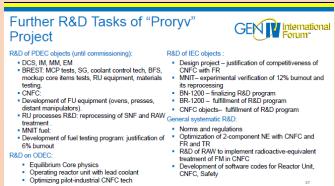


Proryv プロジェクト:

露口スアトムによって実施されているProryv プロジェクトは、これらの課題達成を目的としている。技術安全のために7つの方策が検討差されており、窒化物燃料鉛冷却炉BREST-OOD-300が開発されている。開発の為、多くのソフトウェア解析と窒化物燃料の試験炉照射が行われている。また、環境安全のため、乾式化学再処理、ブランケットのない設計、及びマイナーアクチニドの核変換も検討されている。

高濃度燃料及び再処理によるBREST-OD-300、BN-1200、及び産業による設計プロジェクトを想定した試験的エネルギー供給構造にかかるロシアにおける予備的なシナリオ検討の結果は、高速炉クローズド燃料サイクルへの完全な以降は、21世紀末までに120GWを供給する事を示した。





結語:

PRORYVプロジェクトは、NPTに求められる主要な課題検討についての主導権をもたらしている。世界の原子力発電所の危機は2018-2035年の間、高速炉に基づく最初の産業エネルギーの複合構造の創出によって克服可能である。

"PRORYV" Project provides the State Corporation "Rosatom" with leadership in: • Construction of FR with inherent safety (deterministic exclusion of accidents requiring evacuation of the population) • Creation of Gense MNIT fuel, optimal for Fast Reactors • Final solution of the problem of SNF accumulation and radiation equivalent treatment of radioactive waste • Creation of the world's first pilot energy complex with FR and CNFC technologies (PDEC) The crisis of world nuclear power can be overcome by the creation between 2018-2035 of the first industrial IEC (Industrial Energy Complex) based on Fast Reactors: • With BN-1200 reactor, if competitiveness with WWER will be confirmed by design project • With BR-1200, which is competitive with CCGT and RES • Reduction of natural uranium consumption by 6 times and the growth rate of SNF stocks with the introduction of FR • Phased introduction of SNF reprocessing technologies when economic feasibility is achieved (price of uranium raw materials and SNF storage)